

薬用植物園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2019年
4月1日
第61号



ヒマラヤユキノシタ (ユキノシタ科)

温室の前で、優しいピンクの花が見られます。原種はヒマラヤ山脈周辺の4000m付近の岩場に生息しています。「ヒマラヤユキノシタ」の名称は、植物の種名 (*Bergenia stracheyi* の和名) でもありますが、属名 (*Bergenia* の日本語名) でもあり、園芸用市場品の「ヒマラヤユキノシタ」は、ヒマラヤユキノシタ属に属する10種及びその交配品種すべてを含んでいます。本学薬草園にある個体も、種までは同定できていません。寒さに強いことから「ウインター・ベゴニア」の通称名もあります。茎や葉にタンニンを多く含み、ロシアでは製革の際に使用されてるようです。

イカリソウ (メギ科)

イカリソウも、左と同様に植物の種名でもあり属名でもある用語で、「イカリソウ」の名称でイカリソウ属に属する25種を指すこともあります。写真は園内にある、トキワイカリソウで、池の横でささやかな白い姿がみられます。赤紫や白色の花色で長い距をもつ4枚の花弁に特徴があります。3本に分かれた茎は更に3枚の葉をつけ、合計9枚に。中国では「三枝九葉草」の名があります。中国の故事で、雄の羊が「ホザキイカリソウ」の葉を食べ1日百回交合するということから、地上部が「淫羊藿 (いんようかく)」と呼ぶ生薬となり、滋養強壯を目的に、主に薬酒、ドリンク剤、一般薬に配合され、バイアグラに似た作用があるといわれています。

今、こんな草木が楽しめます！！